

## 2 モデル事業実施市の取組

### (2) 豊川市（地区医師会モデル）

## 1 豊川市の特徴

豊川市は、四季折々の美しい自然が楽しめ、豊かな歴史と文化が息づいている地域。

また、日本3大稲荷とも言われる豊川稲荷を始めとした観光資源が多数あり、B-1グランプリ全国大会の実施など、地域活性化の取組も盛んとなっている。



佐奈川の桜と菜の花

(データ：平成29年4月1日現在)

人口：185,751人

高齢者人口：46,703人

高齢化率：25.1%



御油の松並木

## 2 3年間の取組

### (1) 関係機関のネットワーク化

#### ① 主な取組

地域包括ケア推進協議会（地域包括ケア基本方針等検討会議、地域包括ケア関係機関連絡会議、地域包括ケア専門事項検討会議）及び在宅医療・介護連携協議会（協議会、検討部会）を開催し、顔の見える関係づくりを推進するとともに、地域の課題の抽出、解決策等の検討を行った。

【関係団体】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、愛知県認知症疾患医療センター、民生委員・児童委員連絡協議会、警察署、保健所、市民病院、社会福祉協議会、地域包括支援センター等26団体

(回)

地域包括ケア推進協議会	H26	H27	H28	累計
地域包括ケア基本方針等検討会議	2	2	2	6
地域包括ケア関係機関連絡会議	3	3	3	9
地域包括ケア専門事項検討会議		3	3	6

(回)

在宅医療・介護連携協議会	H26	H27	H28	累計
在宅医療・介護連携協議会	2	2	2	6
在宅医療・介護連携検討部会	2	2	2	6

※H26は在宅医療連携拠点推進協議会

#### ② 取組上で苦勞した点

活発な会議となるような資料の作成等にかかなりの労力を費やした点。

### ③成果

策定した「施策の基本方針」「施策実施の方針」により、各種団体が取り組んでいくべき方向性を共有でき、連携・協働しやすい環境が整備された。(医療・介護連携に関しては、地域包括ケアモデル事業の前年度に「在宅医療・介護の連携推進に関する提言」を策定し、各種団体が取り組んでいくべき方向性の共有を行っている。)

### ④課題

事業の進展に伴い、会議にかかる関係団体(個人)への負担が増加している。これまで培ってきた協力体制(良好な関係)を継続していくためには、会議にかかる負担の軽減についても実施事業と併せて考えていく必要がある。

また、地域課題に対する分析・解決手法の検討等をしっかりと行っているよう、地域ケア会議からの課題の抽出手法等についても引き続き検討していく必要がある。

## (2) 医療と介護の連携

### ①主な取組

#### 【研修等に関する取組】

地域の医療・介護関係多職種を対象に多職種協働研修会、提案募集型研修及びネットワーク講演会を開催し、高齢者支援に関わる専門職の知識を深めつつ、いわゆる「顔の見える関係づくり」を推進し、より一層の連携強化を図った。

#### ◎ 多職種協働研修会

地域の課題解決に資する内容の講義・グループワーク等を通じ、専門知識を学ぶとともに、顔の見える関係づくりを推進することを目的に実施した。

(平成26年度) 実施回数：1回 参加者数：39人

(平成27年度) 実施回数：6回 参加者数：394人

(平成28年度) 実施回数：8回 参加者数：455人

※平成27年度からは、研修の裾野を広げるため、日常生活圏域別に地域包括支援センターが主体となって多職種協働研修会を実施することとし、圏域ごとに異なる教育ニーズ等を踏まえた研修の企画・運営をしている。

#### ◎ 提案募集型研修

複数の団体が協働のうえ主体的に実施する「多職種協働研修会(提案募集型)」の枠組みを創設したことにより、より学びのニーズにマッチした研修の実施が可能となった。

(平成 27 年度)

	研修タイトル	内容	参加者数
1	在宅歯科医療における歯科医師会と介護保険関係事業者連絡協議会(居宅介護・介護予防支援部会)との合同研修会	歯科医師及び歯科衛生士による講演、グループワーク	99
2	レクリエーション研修会 理念と実技・応用(施設部会と通所介護・リハ部会との合同研修会)	レクの理念の把握と応用力を身に着ける	37

(平成 28 年度)

	研修タイトル	内容	参加者数
1	介護保険関係事業者連絡協議会(施設部会、訪問介護・訪問入浴部会、通所介護・通所リハビリ部会)合同研修会	講義及び実技「楽ワザ介護術」	60
2	薬剤師会・介護保険関係事業者連絡協議会 全体研修会	薬の管理や残薬問題についての講演 各職種による座談会形式の意見交換会	106
3	歯科医師会・介護保険関係事業者連絡協議会「口腔ケア講習会(実習付き)」	講義「介護職向け口腔ケア」 歯科衛生士による実践研修	52



実技「楽ワザ介護術」の様子



実技「口腔ケア」の様子

#### ◎ ネットワーク講演会

専門性の高い学びの場・時間の共有を通じ、地域の医療・介護関係多職種のネットワーク構築を推進することを目的に、関係多職種を対象とした講演会等を実施した。

(平成 26 年度)

テーマ：医療・介護チームが支えるターミナルケアと看取り

内容：①講義、②情報交換会

参加者数：145 人

(平成 27 年度) ※医師会在宅医療サポートセンターと共催

テーマ：訪問薬剤管理指導と在宅緩和ケア

内容：講義

参加者数：152 人

(平成 28 年度) ※医師会在宅医療サポートセンターと共催

テーマ：栄養支援

内容：講義

参加者数：106 人

### 【広報・普及啓発に関する取組】

地域住民への広報・普及啓発活動としては、「伝える」のではなく、「伝わる」ことを意識し、地域のボランティア団体等と協働しながら、演劇や落語等の手法も取り入れたフォーラムを開催した。

また、戦略的普及啓発の取組として、市図書館と協働し、図書館コラボ展示なども実施した。

### ◎ 市民向けフォーラム

(平成 27 年度)

タイトル：地域包括ケアフォーラム in 豊川

内容：①演劇「自分らしく生きる」

②有識者意見交換「地域包括ケアって何？教えて！先生！」

参加者数：321 人

※地域の多職種関係者が主体となって実施した演劇では、一般の方及び市内のボランティア団体（子どもミュージカル）とも協働し、実施した。



演劇「自分らしく生きる」の様子

(平成 28 年度)

タイトル：人生の終わりについて考えるフォーラム in 豊川

内容：①創作落語「天国からの手紙」

②パネルディスカッション「様々な立場から語る在宅看取り  
の実際」

参加者数：369 人

※パネルディスカッションでは、市内で在宅看取りを経験された一般の方にも登壇していただいた。



創作落語「天国からの手紙」の様子

※いずれも、一般の方を始めとした多様な主体と協働することで、集客への好影響もあった。

#### ◎ 政策間連携の取組「図書館コラボ展示」

図書館コラボ展示とは、1日あたり約1,500人が来館する市図書館と連携し、一定期間、特設コーナーを設けることにより、高い普及啓発効果を見込むことのできる取組。

多数ある蔵書の中からテーマと関連する書籍を選出・展示することに加え、事業で作成したチラシやポスター、地域の医療・介護関係団体のPR物品等を一齐に展示した。

※市民向けフォーラム等の開催時期とタイミングを合わせることにより、フォーラム等の集客にも好影響が出た。



図書館コラボ展示の様子

## 【ICT利活用に関する取組】

電子@連絡帳システムの説明会、デモ操作研修、出前講座等により、地域の医療・介護関係者へ普及啓発を行うとともに、リーフレットの作成、ショートステイ空き情報の情報共有手法の検討など、利便性向上に資する各種取組を行った。

### ◎ 電子@連絡帳 利用状況の推移

	H27.7.9現在	H28.4.21現在	H29.3.31現在
利用施設登録数	177	228	275
利用者数	312	418	533
患者登録合計数	76	423	988
患者記事合計数	1,266	5,062	25,315

## 【在宅医療支援体制構築に関する取組】

地域の医療・介護関係多職種の見解を踏まえ、医療・介護の連携を推進するツールとして、介護施設共通健康診断書、医療機関連携情報シート集（医科・歯科）及び多職種連携の手引き等を作成した。

また、訪問サービスの普及啓発にかかる取組として、在宅高齢者訪問歯科（歯周病）健康診査及び訪問歯科・薬科導入推奨基準に関する実証実験を実施した。

ほか、取組の進捗を図るための評価指標調査を実施した。

## 【市民向け終活講座の開催】

人生の終わりを考える上で必要になる「終活」の知識について、市民に学んでいただく機会とすることを目的に、「在宅医療」、「在宅介護」、「成年後見制度」、「遺産・相続と遺言」、「葬儀・お墓」という全5回の内容で実施した。

- ◎ 終活講座 実績  
 （平成28年度実施）  
 実施回数：全5回  
 参加者数：376人

	テーマ	参加者数
第1回	在宅医療	81
第2回	在宅介護	81
第3回	成年後見制度	64
第4回	遺産・相続と遺言	79
第5回	葬儀・お墓	71



入棺体験の様子

## 【その他の取組】

出前講座を始めとした各種取組を実施した。

### ◎ 出前講座

市民の学びのニーズに対応し、また、医療・介護に関する市民の選択肢の幅を広げることを目的に、出前講座「在宅医療ってなに?」、「今、知っておきたい地域包括ケアシステム」を実施した。



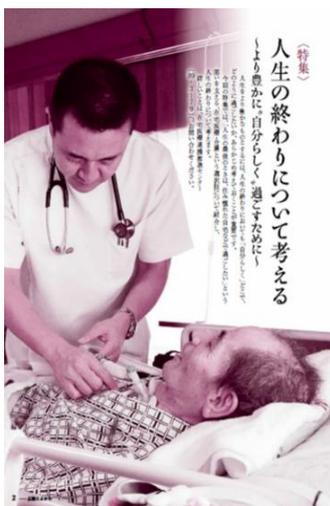
出前講座の様子

(平成 26 年度)	実施回数：23 回	参加者数：823 人
(平成 27 年度)	実施回数：22 回	参加者数：652 人
(平成 28 年度)	実施回数：35 回	参加者数：714 人

### ◎ 啓発物等の作成

在宅医を始め、医療・介護関係多職種のインタビューなども掲載した全 5 ページの特集記事を市広報 平成 26 年 11 月号に掲載した。

また、漫画調のポスターや、「人生の終わりを考えるエンディングノート」なども作成した。



市広報特集



漫画調の啓発ポスター



エンディングノート

ポスター「在宅医療・介護ものがたり」

作成部数：750部、配布場所：地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者、市関係施設等

エンディングノート

作成部数：4,500部、配布場所：市民向けフォーラム、終活講座、相談窓口機関（介護高齢課、地域包括支援センター）等

※当初、1,500部を作成したが、反響が大きく3,000部増刷

## ②取組上で苦労した点

医療・介護関係団体との調整にあたっては、それぞれに役員会や理事会等での了解を得る必要があることも多く、事業スケジュールがタイトとなるなど、情報提供のタイミングに苦労することもあった。

## ③成果

各種研修等の実施により、顔の見える関係づくりは着実に進んでいる。ICT利活用に関しては、電子@連絡帳の利活用が飛躍的に進み、訪問看護師を中心に、「連携上、なくてはならないもの」として有効活用されている。

在宅医療支援体制構築に関する各種取組により、連携ルールに関するプラットフォームとして多職種連携の手引きが整備されるなど、実務の上で負担軽減へとつながる各種書式が利用しやすい形で整理された。

また、評価指標調査の実施により、PDCAサイクルを回すことのできる状況となった。

## ④課題

事業の進展に伴い、研修にかかる関係団体（個人）への負担が増加している。これまで培ってきた協力体制（良好な関係）を継続していくためには、政策間連携、官民連携等を強く推進し、研修にかかる負担の軽減についても実施事業と併せて考えていく必要がある。

また、各種事業について、実施して終わり、作成して終わりとしないうちに、今後は、これまで以上に顔が見え、相互に協力し合える関係づくり（より強固な信頼関係の構築）を図っていく必要がある。

### (3) 予防の取組

#### ① 主な取組

#### 【介護予防教室の実施】

回想法なども取り入れ、各種介護予防・認知症予防教室を実施した。

事業名	ちから塾フォローアップ教室(介護予防)			脳ちから塾(認知症予防)	
内容	従来から行っている介護予防教室後に、運動の継続を取り入れたフォローアップ教室を開催し、高齢者の意欲の向上と運動の継続や習慣、自主サロン化等に繋がるよう取組む。 毎回、座談と体操の要素を取り入れた教室			平成24年度から開始した認知症予防教室(くもん式学習療法)に、介護予防リーダーを導入し、体を動かす運動時間を取り入れ、予防の効果をさらに高めるための内容充実を提案	
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H27年度	H28年度
回数	1クール全12回	2クール全19回	1クール全7回	2クール全40回	1クール全20回
実績	実人数	41	46	24	28
	延人数	211	319	129	502

事業名	マシンなし運動器機能向上教室(委託事業)			マシンあり運動器機能向上教室(委託事業)		
内容	リズム体操やストレッチ、レクリエーション等を用いて、運動器の機能が向上するように集団指導を主体に実施			マシンを使って運動器の機能が向上するように個別指導を主体に実施		
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度
回数	2クール全36回	4クール全72回	8クール全144回	1クール全18回	2クール全36回	2クール全36回
実績	実人数	33	62	132	10	19
	延人数	360	875	1,846	139	306

事業名	回想法		リハビリテーション職派遣事業
内容	認知症予防に関する知識啓発のため、懐かしい話を参加者間共有することで、心が癒される体験をする。		地域全体でリハビリテーションに取り組む意識の醸成を目的とし、市内において介護予防に資する自主活動を行っている団体に対し、リハビリテーション専門職等を派遣する。
年度	H27年度		H28年度
回数	1クール全8回		2クール全16回
実績	実人数	17	34
	延人数	92	193
			H28年度(H29.1~3)
			全3回
			10
			26

#### 【介護予防サポーター養成講座の開催】

介護予防事業の実施に協力し、各地域において介護予防活動を行うボランティアを養成した。

◎ 介護予防サポーター養成講座

	講座内容	実績	
		実人数	延人数
第1回	豊川市の介護予防の考え方	前期	13
第2回	介護予防について考える①現状把握と対策(運動、認知)		
第3回	介護予防について考える②対策(口腔、栄養、総合)	後期	19
第4回	今後の活動に向けて		
			69

②取組上で苦労した点

教室に参加する人が固定化し、参加者に新たな広がりを持たせることが難しい。

③成果

介護予防事業にかかる取組により、参加者同士の交流が進み、人との繋がりや社会とのつながりの大切さなど、参加者の意識の高揚につなげることができた。

④課題

「人生の終わり」については市民の関心度の高いテーマであるため、今後、エンディングノートの活用も絡めてどのように普及啓発していくか検討していく必要がある。

介護予防事業については、より効果的で実践的な取組としていけるよう、参加者の状態の追跡調査や、効果の検証を行っていく必要がある。

(4) 生活支援の取組

①主な取組

【個人宅傾聴ボランティア訪問事業】

話を傾聴することで利用者が元気になることを目指して、個人宅傾聴ボランティア訪問事業を実施した。

【高齢者のお役立ち情報を配信（いきいき元気メール事業）】

市内の高齢者向けにEメールを利用して「講座・講演会の案内」、「介護予防のポイント」、「関係機関のイベント」、「詐欺の注意喚起」、「インフルエンザ情報」など、幅広い内容の情報を週に2～3回の頻度で提供した。

【介護・生活支援サポーター養成講座の開催】

市の現状、医療と介護の連携、高齢者の生活課題と介護保険サービス、認知症の理解、介護予防、介護施設での演習を通して、自らの生きがい活動を見出し、地域で、介護・生活支援の場で活躍してもらえる人材を育成した。

## 【高齢者交通料金助成事業】

豊川市に在住の高齢者に対し、外出支援や社会参加促進を目的とし、70歳以上の低所得者（市民税非課税）に豊鉄バス・コミュニティバス共通回数券を無償で交付した。

## 【高齢者見守りガイドブックの作成】

見守りが必要な高齢者世帯が増加する中、見守りに関わる個人、団体に向けて見守り方法の紹介や活動のポイントを整理したガイドブックを作成した。

作成部数：1,000部

掲載内容：関係機関の期待・役割、見守りの手順や判断基準、個人情報への取扱い等



## ②取組上で苦労した点

いきいき元気メール事業に関しては、高齢者の携帯電話の所持率、Eメールの利用率が低いことや、PCメールフィルターが設定されていることなど、登録の障害が非常に多かった。

## ③成果

地域ケア会議から挙げた地域課題への対応の1つとして、地域の傾聴ボランティア団体と協働し個人宅傾聴ボランティア訪問事業を施策化することができた。

これにより、主としてひとり暮らし高齢者に対し、見守り等も含め、より市民に近い目線・関係で支援することが可能となった。

#### ④課題

いきいき元気メール事業に関して、登録者数の伸び悩みが課題となっているため、機会をとらえて、積極的にPRしていく必要がある。

### (5) 住まいの取組

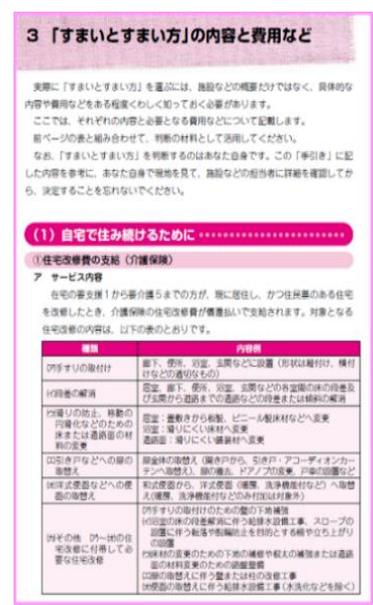
#### ①主な取組

##### 【高齢者のすまいの手引き作成】

高齢者の住まいに関する施策を検討するにあたり、まずは高齢者の方に向けて、「すまい」と「すまい方」に関する情報をきちんと提供することが重要であると考え、「高齢者のすまいの手引き」を作成した。

作成部数：4,000部

掲載内容：すまいとすまい方、住み続けるためのサービス、住み替えるための施設の説明等



#### 【ひとり暮らし高齢者のすまいと生活支援ニーズ調査】

今後の高齢者福祉施策に活用するため、「ひとり暮らし高齢者のすまいと生活支援ニーズ調査」を実施した。

調査送付数：2,000人

回答：1,360人 回答率 68%



掲載内容：住み替えの希望、住み続けるため必要なサービス、住み替え、または住み替えられない理由など

### 【転入高齢者の心身の状態と日常生活に関する調査】

生活にあたっての課題などを明確にすることで、今後の施策推進の基礎資料とすることを目的に転入高齢者の方の住まいや生活上の心配ごとや困りごと等の現状について調査、分析した。(愛知県立大学看護学部との共同研究)

調査数：187人

調査内容：転居直前の身体や心の状態、家族や社会との関わりの状況、転居した理由、転居前後の住まい、現在の生活についてなど

### ②取組上で苦労した点

特になし。

### ③成果

「ひとり暮らし高齢者のすまいと生活支援ニーズ調査」については、ひとり暮らし高齢者の住まいに関する考え方や、地域で暮らし続けるにはどのようなサービスが必要かについて情報を得ることができた。

### ④課題

各調査の結果を踏まえ、見えてきた課題等に対し、関係他課、関係団体と協働しながら施策実施していく必要がある。

住まいに関する施設等の情報が変化していくので、冊子では情報が変わっていくことに対応できない。

### 3 3年間の総括

3年前のモデル事業に着手した頃を振り返り、現在の状況と比較すると、事業の進展に伴い、各種会議や研修等の機会を通じて、いわゆる「顔の見える関係」が構築できてきていると感じる。

連携に関するルールのプラットフォームとして活用されることを期待している「多職種連携の手引き」の整備や、PDCAサイクルを回していくことができるようにと実施した評価指標調査など、モデルで行ってきた各種事業の成果が、当地域における地域包括ケアシステムの構築にとって大きな財産となり、今後の施策実施の柱となるものを得たと評価している。

しかしながら、どんなに優れた成果物があったとしても、それらが地域に根付き、共通認識となり、有効に活用されるかどうかの大きな鍵となるのは、多職種関係者相互の「信頼関係」と考えている。

このような信頼関係は、研修に参加したら築けるといような簡単なものではないため、今後は、これまで以上に政策間連携・官民連携を強く推進し、効果的・効率的な事業実施による多職種関係者の負担軽減、相互理解を進め、少しずつ着実に信頼関係の構築に努めていきたいと考えている。

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
関係機関 のネット ワーク化	関係機 関連絡 会議の 開催		<p>(1)地域包括ケア基本方針等検討会議 【開催回数】:2回 【構成員】医師会、保健所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】・地域包括ケアシステム構築に向けた施策実施の方針の検討 ・平成 28 年度の基本方針の検討</p> <p>(2)地域包括ケア関係機関連絡会議 【開催回数】:3回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、民生委員・児童委員協議会、保健所、警察、市民病院、保健センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】・地域課題の検討 ・「地域包括ケアシステム構築に向けた施策実施の方針」に基づく取組みの状況等</p> <p>(3)地域包括ケア専門事項検討会議 【開催回数】:3回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター、介護保険関係事業者連絡協議会、保健所、市民病院、保健センター、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、シルバー人材センター、市関連部署等 【内容】・認知症関係施策・生活支援関係施策・住まい対策の検討 ・認知症の方と家族・介護者支援ガイドブック、地域包括ケアシステム推進パンフレット等の検討</p> <p>(4)「地域ケア会議」の開催 【開催回数】:8回 【参加者数】:273人 【内容】個別困難ケース等の課題から地域課題の抽出</p>	<p>(1)地域包括ケア基本方針等検討会議 【開催回数】:2回 【構成員】医師会、保健所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】・地域包括ケアシステム構築に向けた施策実施の方針の検討 ・新体制における平成 29 年度事業など</p> <p>(2)地域包括ケア関係機関連絡会議 【開催回数】:3回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、民生委員・児童委員協議会、保健所、警察、市民病院、保健センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】・地域課題の検討 ・「地域包括ケアシステム構築に向けた施策実施の方針」に基づく取組みの状況等</p> <p>(3)地域包括ケア専門事項検討会議 【開催回数】:3回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター、介護保険関係事業者連絡協議会、保健所、市民病院、保健センター、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、シルバー人材センター、市関連部署等 【内容】・ひとり暮らし高齢者のすまいと生活支援ニーズ調査の実施 ・エンディングノートの作成等</p> <p>(4)「地域ケア会議」の開催 【開催回数】:8回 【参加者数】:262人 【内容】個別困難ケース等の課題から地域課題の抽出</p>
		<p>(1)地域包括ケア基本方針等検討会議 【開催回数】:2回 【構成員】医師会、保健所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】・豊川市の地域包括ケアシステムの構築について構築手順・役割分担等の検討</p> <p>(2)地域包括ケア関係機関連絡会議 【開催回数】:3回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、民生委員・児童委員協議会、保健所、警察、市民病院、保健センター、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】地域ケア会議等で抽出された課題の解決策の検討</p> <p>(3)「地域ケア会議」の開催 【開催回数】:5回 【参加者数】:154人 【内容】個別困難ケース等の課題から地域課題の抽出</p>		

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	社会資源、住民ニーズの把握	<p>(1)WEB 版地域資源マップを作成・公開</p> <p>(2)住民アンケート調査及び医療、介護等関係機関での実態アンケート調査の実施 * 第 6 期計画に事業構想を反映</p>	<p>(1)WEB 版地域資源マップ情報の更新 ・施設の増減等の更新(随時) ・電子@連絡帳ポータルサイトに掲示している登録機関一覧表にマップ情報を追加(WEB 版地域資源マップ情報とリンク)</p> <p>(2)「医療機関連携情報シート集」(医科)の作成、運用 【内容】医療機関ごとの基本情報、在宅医療や認知症の取組み、相談タイム、担当者連絡先、連絡方法等</p>	<p>(1) WEB版地域資源マップ情報を更新(定期&amp;随時)</p> <p>(2)「ひとり暮らし高齢者のすまいと生活支援ニーズ調査」実施 【対象】独居高齢者 2,000 人</p> <p>(3)「医療機関連携情報シート集」(医科)の更新及び(歯科)作成、運用 【内容】医療機関ごとの基本情報、在宅医療や認知症の取組み、相談タイム、担当者連絡先、連絡方法等</p>
医療と介護の連携	在宅医療・介護連携会議の開催	<p>(1)在宅医療連携拠点推進協議会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、保健所、市民病院、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】在宅医療連携拠点推進事業(体制)の検討</p> <p>(2)研修・広報検討部会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、保健所、市民病院、消防本部、保健センター、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】連携研修会、シンポジウム、在宅医療推進パンフレット検討</p> <p>(3)電子連絡帳端末導入検討部会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、保健所、市民病院、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】試行運用案、モデル地区運用案の検討</p> <p>(4)在宅医療支援体制検討部会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター、介護保険関係事業者連絡協議会、保健所、市関連部署等 【内容】支援体制、地域の医療・福祉資源の把握及び活用、在宅医療について市民アンケート等の検討</p>	<p>(1)在宅医療・介護連携協議会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、保健所、市民病院、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】在宅医療・介護の連携に関する取組み ・相談窓口機能等</p> <p>(2)在宅医療・介護連携検討部会の開催 【開催回数】:2 回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、在宅医療サポートセンター、保健所、市民病院、保健センター、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】研修事業、電子連絡帳事業等 ・提言に基づく各団体等の取組み状況 等</p>	<p>(1)在宅医療・介護連携協議会 【開催回数】:2 回 【構成員】学識経験者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、商工会議所、保健所、市民病院、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】在宅医療と介護の連携体制の検討</p> <p>(2)在宅医療・介護連携検討部会 【開催回数】:2 回 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険関係事業者連絡協議会、在宅医療サポートセンター、保健所、市民病院、保健センター、地域包括支援センター、市関連部署等 【内容】研修・広報、電子@連絡帳、支援体制等について協議</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	ICT システムの活用	<p>(1)電子@連絡帳システム説明会 【開催回数】:5回 【参加者数】:164人 【内容】・システムの機能説明等</p> <p>(2)電子@連絡帳の正規運用開始</p>	<p>(1)各種情報及び書式を作成し、電子@連絡帳へ掲載し、情報共有及び利活用促進。(一部、一般の方へは非公開) ・個人情報等取扱いガイドラインの制定 ・医療機関連携情報シート集の掲載 ・介護施設共通健康診断書の作成</p> <p>(2)デモ操作研修会 【開催回数】:4回 【参加者数】:50人 【内容】デモ患者を通して実際に操作演習 ※研修開催後、「電子@連絡帳 出前講座」を設けチラシを作成・公表</p>	<p>(1)施設管理者向け説明会 【開催回数】:3回 【参加者数】:延べ64人</p> <p>(2)高齢者相談センター向け説明会 【開催回数】:1回 【参加者数】:12人</p> <p>(3)電子@連絡帳出前講座 【開催回数】:21回 【参加者数】:118人</p> <p>(4)関係機関からの操作等の問い合わせ対応・サポート 【サポート件数】:97件</p> <p>(5)ICT活用状況 ※H29.3月末時点 【事業所登録数】275事業所 (内訳:医師会33、歯科医師会18、薬剤師会26、介護保険関係事業者186、その他12) 【患者登録数】:988人</p>
	在宅医療等に 従事する多職種の 研修	<p>(1)豊川市多職種連携研修会 【開催回数】:1回 【参加者数】:39人 【内容】・地域連携(退院支援)のあり方 ・グループワーク</p> <p>(2)とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会・情報交換会 【開催回数】:1回 【参加者数】:145人 【内容】医療・介護チームが支えるターミナルケアと看取り</p>	<p>(1)日常生活圏域別多職種協働研修会 【開催回数】:6回 【参加者数】:394人 【内容】・「障害者福祉の動向」、「介護家族の力を引き出す支援」など、地域特性に応じたテーマでの講義・グループワーク</p> <p>(2)とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会 【開催回数】:1回 【参加者数】:152人 【内容】訪問薬剤管理指導及び在宅緩和ケア</p> <p>(3)多職種協働研修(提案募集型) 【開催回数】:2回 【参加者数】:136人 【内容】歯科、歯科衛生(講演とグループワーク)等</p>	<p>(1)日常生活圏域別多職種協働研修会 【開催回数】:8回 【参加者数】:455人 【内容】・「医療と介護の連携」、「高齢者虐待の対応」、「生活困窮者自立支援制度」「認知症」など、地域特性に応じたテーマでの講義・グループワーク</p> <p>(2)とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会 【開催回数】:1回 【参加者数】:106人 【内容】在宅での栄養支援</p> <p>(3)多職種協働研修(提案募集型) 【開催回数】:3回 【参加者数】:218人 【内容】介護技術、薬剤管理(講演と座談会)、口腔ケア(講義と実習)</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	在宅医療等の普及啓発	<p>(1)啓発物の作成 ポスター「在宅医療・介護ものがたり」 【作成枚数】:750 枚 在宅医療啓発チラシ 【作成枚数】:10,000 枚 ※前年度作成チラシの増刷</p> <p>(2)「在宅医療・介護を考えるシンポジウム in 豊川」 【開催回数】:1 回 【参加者数】:238 人 【内容】基調講演「人生を支える在宅医療～出前医者 24 年の実践から～」 パネルディスカッション「在宅医療・介護を考える」</p> <p>(3)出前講座「在宅医療って何？」 【開催回数】:23 回 【参加者数】:823 人</p> <p>(4)広報誌等の掲載 地域の病院発行機関紙(1 ページ)や市広報特集号記事(5 ページ)を掲載の他、新聞記事数回。</p>	<p>(1)啓発物の作成 「地域包括ケア推進パンフレット」 【作成部数】:7,000 部 「電子@連絡帳普及啓発リーフレット」 【作成部数】:37,000 部</p> <p>(2)地域包括ケアフォーラム in 豊川 【開催回数】:1 回 【参加者数】:321 人 【内容】・演劇で学ぶ地域包括ケア ・「自分らしく生きる」 ・有識者意見交換「地域包括ケアって何？教えて！先生！」 ※演劇「自分らしく生きる」の youtube 動画配信</p> <p>(3)出前講座「在宅医療って何？」 【開催回数】:22 回 【参加者数】:652 人</p> <p>(4)「センターだより」の発行 【発行頻度】:年1回</p> <p>(5)おいでん祭行政PRブース出展での啓発 【開催回数】:2 日間 【ブース来場者数】:450 人 【内容】地域包括ケアシステムパンフレット配布、紹介パネル展示</p>	<p>(1)啓発物の作成 「エンディングノート」 【作成部数】:4,500 部</p> <p>(2)人生の終わりを考えるフォーラム in 豊川 【開催回数】:1 回 【参加者数】:369 人 【内容】・創作落語「天国からの手紙」とエンディングノートの話 ・パネルディスカッション～様々な立場から語る在宅看取りの実際～</p> <p>(3)出前講座「在宅医療って何？」及び「今知っておきたい地域包括ケアシステム」 【開催回数】:35 回 【参加者数】:714 人</p> <p>(4)「センターだより」の発行 【発行頻度】:年1回</p> <p>(5)おいでん祭行政PRブース出展での啓発 【開催回数】:2 日間 【ブース来場者数】:450 人 【内容】地域包括ケアシステムパンフレット配布、紹介パネル展示</p> <p>(6)図書館コラボ展示 【開催回数】:34 日間 【内容】市図書館と協働し、関連蔵書、普及啓発物品等を一齐掲出</p> <p>(7)災害における講演会～災害関連死を防ぐために～ ※保健センター、防災対策課との協働企画 【開催回数】:1 回 【参加者数】:149 名 【内容】誤嚥性肺炎、災害時の備えに関する講演及びワークショップ</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	その他			<p>(1)評価指標調査の実施 【内容】:ストラクチャー、プロセス、アウトカムからなる指標調査を実施し、今後の取組の進捗管理に活用する。</p> <p>(2)訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導導入に関する実証実験 【内容】:導入推奨基準(チェックシート等)の実用性確認、内容確認、同サービスに関するニーズ把握及び普及啓発</p> <p>(3)終活講座 ～自分のために 家族のために～ 【開催回数】:全 5 回 【参加者数】:延べ 376 人 【内容】「在宅医療」「在宅介護」「成年後見制度・権利擁護」「遺産・相続と遺言」「葬儀・お墓」のテーマで各分野の専門家が講義</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
予防の取組	予防の取組	<p>(1)「運動器の機能向上に係る介護予防教室」の開催 【開催回数】:3回 10クール 【参加者数】:延べ60人 【内容】ストレッチ、軽体操、自重筋カトレーニング、交流</p> <p>(2)「認知症予防に係る介護予防教室の開催」 【開催回数】:41回 【参加者数】:延べ201人 【内容】読み書き、計算、交流</p> <p>(3)介護予防実践教室 【開催回数】:12回 【参加者数】:延べ210人 【内容】交流、介護予防リーダーによる体操、サロン化等への提案</p> <p>(4)アラフィフ健幸講座 【開催回数】:4回 【参加者数】:延べ58人 【内容】50歳前後の女性に対する健康づくりに関する講座</p> <p>(5)男性のためのアラ還(暦)健幸講座 【開催回数】:4回 【参加者数】:延べ33人 【内容】60歳前後の男性に対する健康づくりに関する講座</p> <p>(6)運動はじめの一步教室 【開催回数】:6回 【参加者数】:延べ100人 【内容】なかなか運動を始められない方等を対象に、手軽にできる運動を学べる教室</p>	<p>(1)「みんなで集まる会」(介護予防教室フォローアップ教室) 【開催回数】:19回 【参加者数】:延べ319人 【内容】:交流、介護予防リーダーによる体操、サロン化等への提案</p> <p>(2)回想法教室 【開催回数】:8回 【参加者数】:延べ92人 【内容】回想法を用いた認知機能の維持・向上</p> <p>(3)認知症予防教室 【開催回数】:40回 【参加者数】:延べ502人 【内容】読み書き、計算、交流、介護予防リーダーによる認知症予防の運動・体操</p> <p>(4)マシンあり運動器機能向上教室 【開催回数】:36回 【参加者数】:延べ306人 【内容】ストレッチ、自重筋カトレーニング、交流</p> <p>(5)マシンなし運動器機能向上教室 【開催回数】:72回 【参加者数】:延べ875人 【内容】ストレッチ、軽体操、交流、レクリエーション</p>	<p>(1)「みんなで集まる会」(介護予防教室フォローアップ教室) 【開催回数】:7回 【参加者数】:延べ129人 【内容】交流、ストレッチ、体操</p> <p>(2)地域支援型たまり場 【開催回数】:16回 【参加者数】:延べ353人 【内容】交流、介護予防リーダーによる体操(介護予防リーダーの活用:延べ45人)</p> <p>(3)地域の団体へリハビリテーション専門職を派遣 【派遣団体】:1団体 【派遣回数】:延べ3回 【参加者数】:26人</p> <p>(4)マシンあり運動器機能向上教室 【開催回数】:36回 【参加者数】:延べ204人 【内容】ストレッチ、自重筋カトレーニング、交流</p> <p>(5)マシンなし運動器機能向上教室 【開催回数】:144回 【参加者数】:延べ1,846人 【内容】ストレッチ、軽体操、交流、レクリエーション</p> <p>(6)介護予防サポーター養成講座 【開催回数】:8回 【参加者数】:延べ118人 【内容】高齢者の介護予防教室の運営協力ボランティアを養成する講座</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
生活支援 の取組	生活支援 の取組		<p>(1)生活支援コーディネーターを配置 【委託先】:豊川市シルバー人材センター 【配置人数】:1人 【内容】地域で行われているサロン活動等の訪問により、地域のニーズや社会資源の把握を行う。</p> <p>(2)介護・生活支援サポーター養成講座 【開催回数】:5回 【参加者数】:延べ96人 【内容】医療と介護の連携、高齢者の生活とサービス、介護の演習・体験(施設)、今後のサポーター活動など</p> <p>(3)役立ち情報メール配信 【登録者数】:550人 【配信回数】:118回 【内容】高齢者向けの多種多様な情報の配信</p> <p>(4)高齢者交通料金助成事業 【交付人数】:424人 【内容】市内在住の70歳以上市民税非課税の方に1,000円分のバス回数券無料交付</p> <p>(5)高齢者見守りネットワーク普及啓発チラシの作成 【作成部数】:500部</p> <p>(6)個人宅傾聴ボランティア訪問事業 【利用人数】:4人 【内容】65歳以上で会話のできる人、要介護者等の希望者にボランティアが訪問し、話相手(傾聴)となる。</p>	<p>(1)生活支援コーディネーターを配置 【委託先】:豊川市シルバー人材センター 【配置人数】:1人 【内容】地域で行われているサロン活動等の訪問により、地域のニーズや社会資源の把握を行う。</p> <p>(2)介護・生活支援サポーター養成講座 【開催回数】:10回 【参加者数】:延べ205人</p> <p>(3)「高齢者見守りガイドブック」作成 【作成部数】:1,000部</p> <p>(4)「生活支援サービス・地域の支え合い活動ガイドブック」作成 【作成部数】:5,000部</p> <p>(5)役立ち情報メール配信 【登録者数】:825人 【配信回数】:104回 【内容】高齢者向けの多種多様な情報の配信</p> <p>(6)高齢者交通料金助成事業 【交付人数】:641人 【内容】市内在住の70歳以上市民税非課税の方に1,000円分のバス回数券無料交付</p> <p>(7)個人宅傾聴ボランティア訪問事業 【利用人数】:8人 【内容】65歳以上で会話のできる人、要介護者等の希望者にボランティアが訪問し、話相手(傾聴)となる。</p> <p>(8)介護・生活支援サポート推進事業 【交付決定団体数】:2団体 【活動回数】:7回 【参加者数】:91人 【内容】サポーター養成講座の修了者を含み介護・生活支援分野の推進を図る事業を行う団体に対し、当該事業の立上げにかかる経費の一部を補助する。</p>

豊川市のモデル事業3年間の取組一覧

分野	項目	実績		
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
住まいの取組	住まいの取組	<p>関連部署、関連団体への情報提供 【内容】住宅マスタープラン推進連絡会において、地域包括ケアシステムの構築にあたり、高齢者の住宅施策の検討の必要性について情報提供を行った。 また、商工会議所へ継続的に投げかけ、不動産関連部会等を通じて調査や検討の協力を依頼した。</p>	<p>(1)高齢者のすまいの手引き作成計画案等の検討(地域包括ケア専門事項検討会議にて)</p> <p>(2)研修会への参加 【内容】高齢者住宅担当者研修会 in 京都市へ参加し、住まいを取り巻く諸問題について情報収集した。</p> <p>(3)ごみ屋敷対策の協議 【内容】住まいに関する対策の一環として、ごみ屋敷の対応について清掃事業部門と検討した。</p> <p>(4)空家等対策庁内連絡会議への参加 【参加回数】:1回 【内容】・設置要綱の説明、空家等に関する相談、苦情調査等の協議</p>	<p>(1)「高齢者のすまいの手引き」の作成 【作成部数】:4,000部</p> <p>(2)住宅マスタープラン推進連絡会への参加 【参加回数】:2回 【内容】住宅マスタープランの中間見直し</p> <p>(3)空家等対策庁内連絡会議への参加 【参加回数】:2回 【内容】・空家等に関する相談、苦情処理、豊川市空家対策計画骨子の検討</p> <p>(4)空家の実態調査の実施(建築課) 【調査結果】:1,069棟 【内容】空き家と思われる建築物について、委託調査員が現地調査(外観調査、写真撮影)を実施</p> <p>(5)ひとり暮らし高齢者の実態調査 【調査対象】:2,000人(無作為抽出) 【回収数】1,360人(68%) 【内容】ひとり暮らし高齢者の住まいに関する考え方などを知るためのアンケート調査</p> <p>(6)転入高齢者の実態把握調査(愛知県立大学と共同研究) 【調査対象】:過去1年間に市内に転入した65歳以上の高齢者 【調査数】:187人(対象者全員) 【内容】転居直前の身体や心の状態、家族や社会との関わりの状況、転居した理由、転居前後の住まいの状況などを知るためのアンケート調査</p>